

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0862
 住 所 川崎市川崎区浮島町10-8
 氏 名 日本合成アルコール株式会社
 代表取締役社長 小西 章平 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本合成アルコール株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区浮島町10-8		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	工業用アルコールの製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	13,969	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	技術部製造課
		所在地	川崎市川崎区浮島町10-8
		電話番号	044-266-6571
		FAX番号	044-266-6575
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度 平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 26,266 t-CO ₂ (調) 26,255	(実) 24,954 t-CO ₂ (調) 24,943	(実) 28,233 t-CO ₂ (調) 28,221	(実) 26,842 t-CO ₂ (調) 26,831	(実) 25,478 t-CO ₂
削減率		(実) 5.0 % (調) 5.0	(実) -7.5 % (調) -7.5	(実) -2.2 % (調) -2.2	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	生産量の減少の要因もあるが、各蒸留塔の運転条件の最適化をはかり蒸気削減に努めた結果排出量を5%削減することができた。
第2年度	生産量は、基準年度（H24）60,930klに対し67,513klと10.8%増加しているが、蒸気削減に努めた結果排出量は7.5%増加に抑制することができた。
第3年度	第2年度と比較して排出量-4.9%となった（生産量は-2.5%）。これは運転条件の変更などの効果によるものである。この3年間では当初の見込みより生産量が増加したため目標排出量を達成することはできなかったが、3年間の対策の結果として生産量の増加 8.1%（基準年度 60,930klに対し3年目 65,840kl）に対し、排出量の増加は2.2%に抑制することができた。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要設備等の保全管理 ・ 生産設備のエネルギー管理 ・ 照明設備の新設、更新等
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産設備のエネルギー管理 各蒸留塔の運転条件の最適化をはかり蒸気削減に努めた
	第2年度	第一年度の対策に加えて下記の措置を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明設備の新設、更新等 事務所の照明を蛍光灯からLED灯に交換し、59基から39基へと削減した <ul style="list-style-type: none"> ・ 排ガス及び蒸気ドレン以外の廃熱回収の管理 プロセス廃熱とボイラ給水を熱交換させて熱回収を行い給水温度を上昇させた
	第3年度	第二年度の対策に加えて下記の措置を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明設備の新設、更新等 照明を蛍光灯からLED灯に132基交換、配置等を見直し15基削減した 計画された対策は3年間でおおむね実施できた。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none">・グリーン購入の推進(EMS)・廃棄物の減量化 分別の徹底(EMS)
第1年度	<ul style="list-style-type: none">・グリーン購入の推進(EMS)・廃棄物の減量化 分別の徹底(EMS)
第2年度	<ul style="list-style-type: none">・グリーン購入の推進(EMS)・廃棄物の減量化 分別の徹底(EMS)
第3年度	<ul style="list-style-type: none">・グリーン購入の推進(EMS)・廃棄物の減量化 分別の徹底(EMS)

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	27,306	t-CO ₂
(調)	27,204	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
本社・工場	川崎市川崎区浮島町10-8	1632	脂肪族中間物製造業	27,306 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--